浅間　信一 議員

田中カラーと5本の政策の柱について

質問 市長が示している5本柱のうちの3本についてのプランを伺う。

答弁 1．子ども育成支援の充実については、子どもの医療費助成の拡充。病後児保育。
2．高齢者や障害者福祉の充実については障害者グループホームの開設。
3．地域経済の活性化については

プレミアム商品券、住宅リフォーム支援事業、計画的な消雪パイプの整備など新規事業などをやってきた。このことから組織の改編により、子育て環境、障害者支援及び高齢者福祉の更なる充実を図り、スピード感をもって、元気ある農林業、商工業の発展を目指し、地域経済の活性化に取り組むことにしている。

この3つの質問におけるプランについては背景に少子高齢化、人口流出などによる地域経済の縮小がある。これらの課題解決に向け、まずは安心して子どもを生み育てることが出来る環境と子どもが自ら学ぶ楽しさを実感する環境の整備が必要である。

また経済の活性化においては、タイムリーに地域経済を把握しながらその対策を打つ一方、人・金・物を市に呼び込むとともに魅力ある農業、商工業を軸にして若者の定住促進を図っていく。

風間　輝栄 議員

新病院建設について

質問 水原郷病院は昭和29年12月に水原国保直営病院として発足。以来58年にわたり市民の健康と命を守る病院として地域医療の中心的な役割を果たしてきた。

平成17年度途中の医師の大量退職により危機的な経営状況に陥り、診療機能の大幅な低下、特に救急体制が維持できなくなり、平成22年10月から病院運営を県内に17病院を有する厚生連に委託し現在に至っている。そんな中で財政難の当市において75億円を投入する「新病院建設」だけが着々と進行している。新病院建設の絶対条件であった医師の確保・24時間の救急体制が実現できる見込みのない中で、老朽化・耐震性だけの理由だけで新病院建設を進めていいのか。市民が万が一の救急体制に大変不安を抱いている中で、市民の声が反映されない新病院建設に75億円もの多額な資金を投入するのは、私は絶対反対である。そこで伺う。①新病院建設の第一条件である「24時間の救急体制」は実現可能なのか。②「夜間診療体制」の取り組みは現在どのような状況になっているのか。

答弁 ①新病院の開院時に、24時間の救急体制を構築するための医師数の確保は難しいと判断している。②「夜間診療体制」についても、現在「休日の午前中診療」を実施しているが、残念ながら夜間についてはその手立てがない。当市が出資している「新発田救急診療所」「五泉夜間診療所」があり、これを市民に周知することで十分とは言えないがある程度市民の安心につながるのではないかと考えている。この他にも市民が利用できる診療所があるので市民の皆様に周知していく。

◆その他の質問◆
①子育て年代は資金需要が多くて大変です。教育するにもお金が必要です。市独自の中学生対象の放課後塾の開設はどうか。
②経済の活性化をするには雇用の創出もある。市内法人では雇用の増員計画もあるようだがバイパスの早期完成を急ぎ集客施設等の建設で雇用の創出又特別養護施設の増設で相当数の雇用が発生するが積極的に進めてはどうか。

インターネットで市議会の生中継・録画中継をご覧いただけます

阿賀野市議会では、市民に開かれた議会を目指して、９月定例会から本会議のインターネット中継を開始しました。

「議場で傍聴したいけれど時間がない、行けない」という方も、ご自宅等のパソコンで議会の様子をご覧いただけます。

本会議の様子をリアルタイムでお伝えする「生中継」のほか、「録画中継」も見ることができます。「録画中継」は生中継終了後おおむね５日（土、日、祝日を除く）程度で視聴できるようになります。

中継映像は、市議会ホームページ内（http://www.city.agano.niigata.jp/shigikai/index.html）で配信していますので、一般質問や議案審議等の様子を、ぜひご覧ください。

インターネットの検索サイトで、
阿賀野市議会　で　検索　してください。